

2018 J2 ■順位表■第10節終了

勝点、得失点差、得点、失点、
岐阜戦の戦績（岐阜から見て）

1	大分	21p	+10	18	8
2	岡山	21p	+7	10	3 A△
3	山口	20p	+5	19	14
4	東京V	18p	+9	12	3 A△
5	福岡	18p	+5	16	11 A●
6	熊本	17p	+1	15	14
7	町田	16p	+3	16	13
8	水戸	15p	+2	11	9
9	松本	14p	+1	12	11
10	横浜FC	14p	-2	10	12 H●
11	金沢	12p	+3	13	10
12	山形	12p	-2	11	13
13	栃木	12p	-6	11	17 H△
14	新潟	11p	-1	9	10
15	大宮	11p	-2	13	15
16	徳島	11p	-3	8	11 H△
17	甲府	10p	-1	8	9 H●
18	岐阜	10p	-2	11	13 --- ---
19	千葉	10p	-5	17	22 AO
20	讃岐	9p	-7	8	15
21	愛媛	8p	-8	6	14 AO
22	京都	6p	-7	7	14 A●

次回HomeGame

第13節 vs. 松本山雅

5/6 (日) 18:00

@岐阜メモリアルセンター
長良川競技場

大酒場 ホームラン
名鉄岐阜駅前（三菱UFJ銀行隣り）
年中無休 午後3時から営業
TEL.058-263-5201

Living in Woods
本庄工業株式会社
http://www.honjo-woodream.com/

湯麺 戸塚
店主：戸塚 哲也
瑞穂市穂積1596-4
11:30~14:00/18:00~21:00(L.O.20:50)
お休み情報 twitter: @Tanmen_Tozuka
☆☆☆各務原店もよろしく!!☆☆☆

today's guest : ツエーゲン金沢

2017 J2 13勝10分19敗 勝ち点49:17位

直近の対決と結果

2017/11/05
J2 - 37節@長良川
金沢 1-1 岐阜
風間宏矢 scored.

ここ3試合の公式戦の結果

FC岐阜		ツエーゲン金沢	
2018/04/21	J2 - 10節@Cスタ 岡山 0-0 岐阜	2018/04/22	J2 - 10節@石川西部 金沢 0-1 大分
2018/04/15	J2 - 9節@長良川 岐阜 0-0 徳島	2018/04/15	J2 - 9節@Kスタ 水戸 1-0 金沢
2018/04/07	J2 - 8節@味スタ 東京V 0-0 岐阜	2018/04/08	J2 - 8節@石川西部 金沢 3-1 千葉

●4/15 (日) 第9節・ホーム戦に徳島を迎えたFC岐阜。互いに死力を尽くした一戦は、しかし互いの好守もあって得点を奪うことができず、0-0のスコアレスドロー。惜しい試合ではあったが、またも今季ホーム初勝利はお預けとなった。続いて4/21 (土) 第10節・アウェイ岡山に乗り込んだ一戦は、首位・岡山を相手に決定機を作ったが決めきれず、0-0のスコアレスドロー。首位チームとのアウェイ戦という意味では、貴重な勝ち点1を持ち帰ることができた。この2試合の結果、FC岐阜は勝ち点2を積み上げたものの、さらに順位は落ちてしまい現在18位。しかし、3試合無得点でもあるが、3試合無失点という結果は、守備面でのチーム力向上がうかがわれ、今後に期待が持てるだろう。それにまだ、上位の勝ち点差3以内に11位・金沢が、勝ち点差6に7位・町田がいる。まだまだシーズン序盤、きっかけさえ掴めれば、上位進出の可能性は十二分にある。さて、シーズン42試合のうち10試合を終えた今季のJ2は、過去3年と比較しても中位～下位の勝ち点差が密接しており、例年以上に混沌としている。J3自動降格圏内である21位・愛媛との勝ち点差3に14位・新潟までが入っているし、前年J1降格クラブがいずれも大苦戦して中位に沈んでいる状況だ。この状況であるが故に、やはり勝利を、勝ち点3を積み上げる結果がとても重要だ。そして、今節からはシーズン2度目となる3連戦、GW3連戦だ。ここで勝利を積み重ねることができれば、これまで積み上げてきたチームの自信にも、そして順位の上昇にも繋がり、今後が期待できるものとなるだろう。そのためにも、この試合は何としても勝利したい。

さて、そのGW3連戦の初戦は、奇しくも昨年と同じ対戦相手、ツエーゲン金沢だ。柳下正明監督体制2年目の今年は現在11位。直近2試合では、水戸と大分にそれぞれ0-1で惜敗して連敗となっているが、その前には連勝・6試合無敗の成績を果たしており、チーム状況は好調と思われる。何としても3連敗はしないという、強い気持ちで長良川にやってくるだろう。一方の岐阜にとっても、金沢は勝ち点差2の位置にいる。この試合でホーム初勝利をつかんで順位を入れ替え、チームに勢いを持たせたいところだ。金沢との、Jリーグでの通算対戦成績は岐阜の2勝2分2敗・5得点6失点と互角だ。昨年は、ホーム戦では4/29 (土) 第10節に1-0で勝利し、アウェイ戦では11/5 (日) 第40節に1-1で引き分けたものの、ホーム戦での戦績は1勝2敗・1得点3失点と敗戦が先行している。今節の勝利で、通算成績でも金沢を上回りたい。金沢の注意すべき選手には、それぞれ3ゴールの#19 垣田裕暉と#29 マラニョンを挙げておきたい。この2トップで金沢の総得点13点の約半分を叩き出しているため、この2人に決定機を与えない堅守を、今節も岐阜の守備陣には期待したい。そして、#9 FW佐藤光一を挙げない訳にはいかないだろう。08年に岐阜で特別指定選手となり、12年までの在籍5年間で通算39得点。今でも岐阜のクラブ最多通算得点記録保持者だ。佐藤も古巣・岐阜相手に気持ちが入っているだろうが、今節は活躍させる訳にはいかない。また、同じく古巣対戦となる#7 田中パウロ淳一は今季5ゴールでリーグ得点2位タイと好調だ。なお、佐藤に続くクラブ通算得点者は、#24 難波宏明の36得点。今季はまだ無得点だが、今季初ゴールを決めて、“難波劇場”の上演も期待したいところだ。隣県対決、「白山ダービー」と銘打たれた一戦。双方ともに負けられない、激しく厳しいタフな試合になるだろう。しかし、そんなタフな試合だからこそ、今季ホーム初勝利を掴み取ろう。試合後には万歳四唱の歓喜を、選手たちと分かち合おう。そのために僕らは今節も最後まで、選手たちを奮い立たせて後押しするための、拍手と声援を送り続けよう。(ささたく)

「いらっやいませ」より「おかえりなさい」が似合うアットホームな韓国料理店。『チヂミ屋』はJR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。休:月曜日

投稿募集!!
gidaidohri@gmail.com

【第9節】岐阜 0-0 徳島

●自分の中では待ちに待ったこの一戦。もしかすると、今季で一番楽しみにしていた対戦だったかもしれない。それはもちろん、シシとユーキがいるからに他ならない。そして、忘れもしない。昨季の長良川で「グウの音も出ない。」ほどに圧倒された徳島。その相手に今度こそお返しを、と挑んだ試合だったが、前節に引き続き、またしてもスコアレスドロー。無得点で終わるのには慣れているけど、連続で無失点に抑えたのには正直ビックリ（苦笑）。田森と竹田のコンビがこなれてきたおかげもある。特に、竹田の読みとか体の使い方。ウチにきてくれてありがとう。それにしても、ホントによく抑えてくれた。しかし、向こうの10番。スゴいなあ。前半のシュートミスに助けられた感もある。さすが、我が岐阜県出身だけのことはある。それから、やっぱりシシ。ホント、敵に回すと厄介な選手だわ。猟犬ぶりに変わりはない。対して、ユーキ。ケガから復帰して初のスタメンとか。クロスの精度に冴えがなく、正直助かった部分はあるが、後半のアノ一本。アレはやばかった。試合途中でボールを持つたびにブーイングされてて、一瞬「なんで？」と思ったけど、そーいや、開始早々に竹田にキツイ当たりをしてきてたっけ。

ボクの主義趣向とは違ったので声を出すのに専念したけど、ユーキ自身も戸惑いや不満はあったのかも。試合後にシシと挨拶に来てくれたけど、シシが左手で彼の頭を押さえてたもんね（笑）でも、愛情の裏返しなんだよ、たぶん。タフな試合だったけど、内容的には堪能できた。9月にポカスタで会おう。今度は勝つよ。

さて。堪能できたと書いたけど、客観的に見ると徳島の試合だったかな？でも、終盤の攻勢は見どころがあった。燃えた。アレで、後半終盤の2つの決定機のうち、どちらか一本でも決まっていたら……。約半年未勝利の長良川は狂喜乱舞。久しぶりの劇場と化していたに違いない。特に、最初の1本。インステップで蹴りにいったけど、インサイドに当てるだけでよかったような……。コースを変えるか、ゴールにパスするような感覚で。イヤ、ホント惜しかった。でもそこがアベちゃん。そして、なぜ、あの位置にいるのか。それがアベちゃん。ゴールが見られるのは、そう遠くない。そんな気がする。それが勝利に繋がるゴールであることを楽しみにしています！それから、試合とは別に関係者の方にお願いがひとつ。『白山ダービー』の煽り映像、恒例の洗いを流して下さるタイミングについてご一考を。せっかくの映像なのに、試合後の挨拶も済んでない状況では楽しむことが出来ません。出来れば、ダービー当日の試合前にもう一度流していただけないでしょうか？よろしくお願いします。（ぐん、）

●試合前、「ついに、この時が来たか……」と、僕は感慨深く感じていた。前年にウチで主力だった選手が（岐阜との契約またはレンタル満了ではなく）普通に移籍して、相手チームの主力選手として、普通に僕らの前に立ち上がる。それも、2人も。2015年のナザリト（→札幌）は結局ベンチのままだったから、こんな体験をするのは初めてじゃないかな？

さて、試合序盤から流れは徳島に掴まれてしまう。徳島の早い寄せに岐阜の選手たちが対応できず、セカンドボールが全然拾えない。パスを主体とする戦術のチームでは、これは…あれれ、でもなんだかウチの戦術が少し変わった？前の試合の東京V戦でも何となく感じてたんだけど、ショートパスを繋ぐ選択肢を減らしたというか、無理せずクリアする場面や縦へのパスが増えたような気がする。これは、岐阜と同じく攻撃的ポジションサッカーを指向する徳島が相手だからなのか、それとも東京V戦の前に守備戦術を整理したという話の、大木サッカーの“軌道修正”なのかしら？とはいえ、僕には“攻撃的サッカー”2年目のチームは苦戦している印象があって、徳島もその1つなんだと、やはり徳島の攻撃陣に岐阜の守備陣は押され、今節も#25ピクトルの“神セーブ”連発に

救われる岐阜のゴールマウス。そんな、気温以上に陽射しが厳しいコンディションの試合の中、あのスプリングラーの珍事が（苦笑）。「水を差された」という表現も使われますが、僕はホーム長良川が「選手に一呼吸おいて冷静にさせた」のかしらと思いました（苦笑）。あと、これまで試合前にはホースで頑張ってた水が撒いてた原因がこれで解消されて（？）良かったかなあ（笑）。

#2阿部正紀のダイレクトボレー2発は、どちらかでも決めて欲しかったけれど、それ以上に相手の決定機も多く、スコアレスドローという結果とは裏腹に、白熱した試合内容だったと思う。あと、#24難波宏明選手、J2通算300試合出場おめでとう！自身を祝うゴールが見られなかったのは少し残念ですが、今後も活躍を期待してます。

試合後には、徳島の#6シシーニョと#27大本祐槻が岐阜のゴール裏に挨拶に来てくれた。2人へ、岐阜でのコール。岐阜県出身の#10杉本太郎もいるし、今年の徳島は、やはり僕にとっては、少し応援したくなる存在かもしれない。もちろん、アウェイ戦ではウチが勝たせて貰いますけどね！（笑）（ささたく）

【第10節】岡山 0-0 岐阜

●う～ん、またしても引き分け。これで3試合連続。2年ぶりの岡山。昨季は遠征できなかったシテスタで、どうしても勝ちたかった。勝どきを天まで届けたかったんだけど願いは叶わず。ただ、力は出せたと思う。

それにしても、3試合連続のスコアレスドローとは珍しい。仲間が調べてくれたところによると、3試合連続完封は過去に数回（3回か、4回）あるらしい。イヤ～、驚いた。そして、やったことがあるという事実もさることながら、それをすっかり忘れていた自分にもビックリだ。これも、寄る年波か。ただの劣化だな（苦笑）。

現地で見ていたかぎりでは、ボール支配率通りにウチの優勢に思えたけど、D A Z Nの見逃し配信では、どちらかとうい岡山の方が優勢に見えた。さすが、首位、ということにしておこう（ウチと引き分けたので首位じゃなくなったが）。それでも、枠内シュートもそこそこあったし、ちゃんとフィニッシュまで行けるようになってきた。終盤での福ちゃんのミドルが決まっていれば……、と思うが、向こうのシュートもバーが助けてくれたしね。ショートパスで繋ぐだけでなく、大きなサイドチェンジも使えるようになってきた。シンプルな縦へのボールも狙えるようになってきた。また、それを活かせるキョーゴが素晴らしい。勢いのまま勝負する姿勢もイイが、巧みなトラップもまた眼福。ヤバイ。西野さんの目に触れないようにしとかなないとだ。でも、得点にどんどん絡んでもらわないといけな……。ホントに悩みは尽きないなあ。とにかく、この三試合で得た勝ち点3を生かすも殺すも次節次第。金沢戦は全員の思いとパワーを結集して、何が何でも勝ち点3を取りましょう！（ぐん、）

●今季初のナイトゲーム。しかし“晴れの国”岡山で、20℃を超える天候。しかもタフな試合運び・堅守で首位にいる今季の岡山を相手に、岐阜がどんな戦い方をするのか、それに僕は注目していた。

さて、試合開始…うん、確実に、岐阜の戦術は昨年から（開幕時から？）変わった。僕にとっては評価の意味で。しっかりボールをクリアすることで、DFラインでボールを奪われるリスクを減らしている場面が増えているように思えるし、ボールを短く繋ぐところと、長く蹴るところがあって、それが攻撃の緩急に表れていると感じた。#3竹田忠嗣と#15田森大己のCBコンビが、試合を重ねることで機能してきたのかな？あとは、チャンスと感じたら前を向いて、遠目からでもシュートを撃ちゴールを狙う姿勢が、もっと多くの攻撃で出てきてほしいかなあ（苦笑）。

何度か惜しいチャンスもあったし、何度か際どいピンチも見られた。そういう点では、前節の徳島戦と同様、スコアレスドローという結果とは裏腹に、緊迫したタフな試合内容だったと思う。首位・岡山を相手に、アウェイ戦で無失点、勝ち点1。それは、選手たちにも守備の自信となったことだろう。もちろん勝つに越したことはないけれど、毎試合、勝ち点を積み上げること、失点せずに負けないことも非常に重要だ。なお、僕が調べたところでは、岐阜の3試合連続無失点はクラブ記録タイ、2016年第3節～第5節に達成して以来、6回目。それは守備が安定してるって意味に捉えれば良いことなのだけれど、3試合連続スコアレスドローはクラブ初記録です(苦笑)。まあ守備と攻撃のバランスってのは、どの時代どのチームでも難しい課題だし、やはり良い守備をしないと良い試合結果には繋がらないと思う。金沢戦では、この組織的守備を活かしてクラブの無失点記録を更新しつつ、ホームで勝利の歓喜を叫びたい。そのために、今節も最後まで全力で応援します！
(ささたく)

【ユース】東海プリンスの結果

●我々がFC岐阜U-18(以下「FC岐阜ユース」)は今年から東海プリンスリーグに参戦しています！4月14日には笠松町の岐阜フットボールセンター(以下GFC)にて昨年の東海プリンスリーグ3位だった静岡学園高校戦が行われました。前半終了時点で0対5と大差を付けられたFC岐阜ユース。後半終盤には今年度初得点となるゴールを東選手が挙げるものの、逆に追加点も取られて、1対9で試合終了。悔しい結果となりました。

続く4月21日には同じくGFCにて昨年東海プリンスリーグで9位、今年もFC岐阜ユースと同じく開幕から2連敗していた中京大中京高との第3節が行われましたが、後半ATに細野選手が1点を挙げるものの、1対3で敗戦。開幕3連敗で最下位となってしまいました。開幕戦ではJFAアカデミー福島に対して私自身は手ごたえが感じていたのですが、実際には中々厳しいですね。本日11時から静岡県藤枝市で藤枝東高戦が行われる予定になっていますが、吉報は届いているでしょうか？

そして次節は5月5日(土)にGFCにて帝京大可児高との岐阜県のチーム同士の対戦が予定されています。キックオフ予定時間は11時。トップチームの試合と重なっていませんので、是非応援に行ってやって下さい。その後は日本クラブユースサッカー選手権の東海大会が予定されているので、暫くプリンスリーグはお休みになります。

頑張れよ、応援しているからな！！FORZA！FC岐阜ユース！！

※試合会場・時間は変更される場合が有ります。必ずJFAやチームの公式サイトで確認して下さい。

(シュナ)

【セカンド】全国への道、進行中。

●FC岐阜 Second(以下『セカンド』)は、通例どおり天皇杯・全国社会人の岐阜県予選を戦っています。

セカンドは先週に行われた準決勝・テクノ渡辺戦を4-0で勝利しました。これで、大学2チーム・社会人2チームの計4チームで争う岐阜県サッカー選手権(天皇杯岐阜予選)と、愛知・静岡・岐阜・三重からの計16チームで4つの出場枠を争う全国社会人東海予選の出場は決まりました。

決勝戦は明日(4/30)13時から、メドウでFC大垣コーガンズ戦が行われる予定です。コーガンズには、セカンドで構成された国体岐阜県チームで東京国体の決勝戦で決勝点を挙げた緑悟をはじめセカンドOBが4名在籍。そしてそして、FC岐阜トップチームOB、J2昇格後の2シーズンで11ゴールを挙げた片桐淳至も在籍しています。

(吉田鑄造)

昨年度の決算が発表されました

●先日、クラブから決算の概要がリリースされました。特筆すべきは純利益(※下記参照)。何か、夢を見ているようです。こんな日が来るとは……。宮田社長を始めとするスタッフの方々、スポンサー様、すべての関係者の皆様に、心からお礼を申し上げます。自分も微力ながらこのクラブに添い遂げていきます。

(ぐん)

◆ざっくり編集部注：純利益とは、会社の売上合計(FC岐阜の場合はスポンサー収入や入場料、グッズ売上、分配金など)から人件費などのコストを引き(これが経常利益)、さらに法人税などを引いたもの。つまり「本当に手元に残ったおカネ」のことです。

